

2021.2.24

緊急事態宣言が発出された 2021 年 1 月のスタートアップ雇用指数「WANTEX」は過去最高値を記録した 12 月から下落し、2.75 という結果に(前月比-0.55 ポイント)

スタートアップ企業がビジネス SNS「Wantedly」へ掲載した募集数に対する応募者数の割合を日本におけるスタートアップ経済の成長性を示唆する先行指標として公開
全業種で WANTEX の減少が見られる中、デジタル人材に絞るとニーズの高まりを見せる業界も

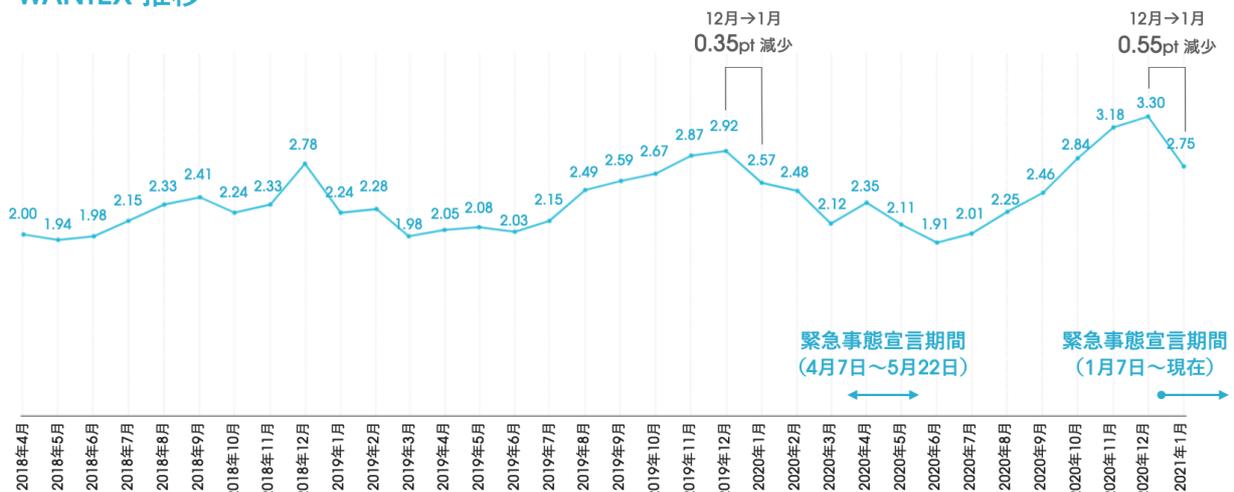


ビジネス SNS「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社は、2021 年 1 月版のスタートアップ雇用指数「WANTEX」(Wantedly Job Market Index、読み：ウォンテックス)を公開しました。

緊急事態宣言が発出され、減少した 2021 年 1 月の WANTEX

WANTEX は東京都が緊急事態宣言を発出した 2020 年 4 月~5 月から上昇を続け、2020 年 12 月には過去最高値を更新しましたが、緊急事態宣言が再度発出された 2021 年 1 月には昨月から 0.55 ポイント減少しました。12 月度から翌年 1 月度にかけての減少幅に着目すると 2020 年 1 月の 0.35 ポイント減に対して 2021 年 1 月は 0.55 ポイント減となり、昨年よりも減少幅が大きくなるという結果となりました。

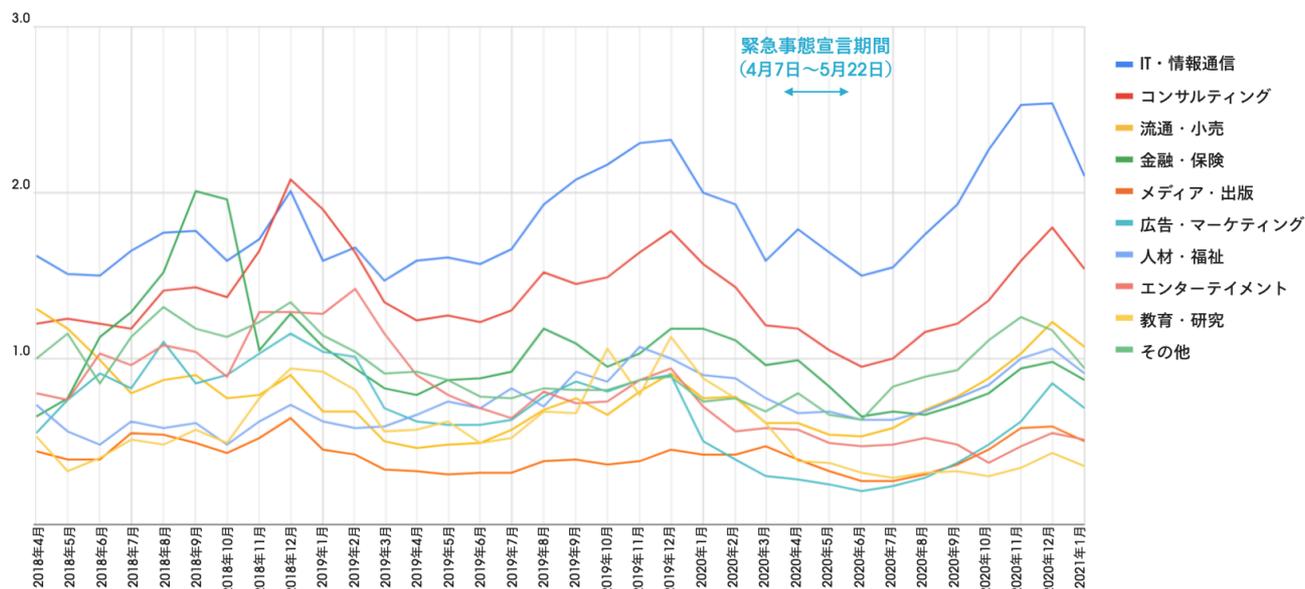
WANTEX 推移



全業種において WANTEX は対昨日比で減少

業種別の WANTEX 推移を見ると、全業種において減少傾向が見られました。

業種別 WANTEX 推移



2021年1月時点の WANTEX の業種別ランキングは以下の通りでエンターテインメント業界が対昨日比 93%と最も減少幅が小さいという結果になりました。WANTEX が1倍を割り込んでいる業種においては募集数に対して応募人数が超過しているため、該当業種のスタートアップ企業は採用しやすい状況にあると思われます。

表1：業種別 WANTEX ランキング (21/1月)

No.	業種	WANTEX	対昨日比
1	IT・情報通信 -	2.1	83%
2	コンサルティング -	1.54	86%
3	流通・小売 -	1.07	88%
4	人材・福祉 -	0.91	86%
5	金融・保険 -	0.87	89%
6	広告・マーケティング -	0.7	82%
7	エンターテインメント ↑	0.51	93%
8	メディア・出版 ↓	0.5	85%
9	教育・研究 -	0.35	81%

緊急事態宣言下においても伸びを見せるデジタル人材ニーズ。DX加速の影響か。

表1よりIT・情報通信業を除き、募集の対象職種をデジタル人材に絞った業界別WANTEDLYを算出したところ、デジタル人材のWANTEDLYは5業種で100%を超えるという結果に。特に教育・研究、エンターテインメント業界では対前月比で120%弱の伸長が見られました。表1では全9業種においてWANTEDLYが下落したのに対し、表2で下落したのは3業種にとどまるという結果になり、DX加速によるデジタル人材ニーズの根強さを示唆する結果となりました。

表2：業種別デジタル人材WANTEDLYランキング

No.	業種	WANTEDLY	対前月比
1	コンサルティング -	1.43	86%
2	金融・保険 -	1.15	102%
3	流通・小売 -	1.05	104%
4	メディア・出版 -	0.73	88%
5	教育・研究 ↑	0.68	117%
6	エンターテインメント ↓	0.67	116%
7	広告・マーケティング -	0.52	91%
8	人材・福祉 -	0.39	111%

※デジタル人材定義：「エンジニアリング」「PM・Webディレクション」「デザイン・アート」の3職種でWantedlyに登録している人を指します。

非首都圏に着目すると福島県、大分県がTOP10にランクイン

東京都を除いた46道府県におけるWANTEDLYに着目すると、対前月比93%と下落したものの宮崎県が昨月に引き続きトップという結果に。TOP10には福島県、大分県が新たにランクインしました。

表3：道府県別WANTEDLYランキング（21/1月）

No.	道府県	WANTEDLY	対前月比
1	宮崎県 -	1.9	93%
2	大阪府 -	1.4	104%
3	愛知県 ↑	1.05	95%
4	京都府 ↓	1.05	82%
5	神奈川県 ↓	1.04	85%
6	福島県 ↑ NEW	0.98	80%
7	北海道 -	0.72	88%
8	福岡県 ↑	0.63	103%
9	兵庫県 ↓	0.45	63%
10	大分県 ↑ NEW	0.32	82%

※道府県別WANTEDLY：該当する道府県を所在地として登録しているスタートアップ企業の掲載募集数を、それに対する応募者数で割り込んだ数を指します。

職種別では、メディカル系の伸びが最も大きいという結果に

2021年1月時点の職種別WANTEDLYに着目すると唯一メディカル系職種のWANTEDLYが昨月から増加し、伸びも123%と大きなものとなりました。

表4：職種別WANTEDLYランキング（21/1月）

No.	職種	WANTEDLY	対昨月比
1	エンジニアリング -	3.53	87%
2	セールス・事業開発 -	2.51	84%
3	PM・Webディレクション -	2.23	81%
4	メディカル系 ↑	1.79	123%
5	コーポレート系 ↓	1.78	89%
6	デザイン・アート ↓	1.64	84%
7	コンサルティング ↓	1.49	81%
8	カスタマーサクセス・サポート ↑	1.29	91%
9	マーケティング・PR ↓	1.24	82%
10	編集・ライティング -	0.70	79%

スタートアップ雇用指数「WANTEDLY」について

■ スタートアップ雇用指数「WANTEDLY」の定義

【算出式】「WANTEDLY」 = (スタートアップ企業が掲載している公開状態にある) 募集数 ÷ (スタートアップ企業への) 応募者数

※スタートアップ雇用指数は上記式の各項を月次で合算して算出しています。

※募集数、応募者数ともに、Wantedlyで公開された募集、応募した登録者を算出対象としています。

※スタートアップ企業は算出月から創業10年以内の企業を指します。

■ WANTEDLY 公開の背景

Wantedlyはスタートアップ企業とともに成長し、2020年の情報・通信業に分類されるマザーズ上場企業のうち、約7割(20/12/22時点)にご利用いただくに至りました。世界的には米国、中国を中心にスタートアップ経済が活況を示す中、未来の日本の産業を創る新興企業のトレンドを可視化することで、私達は日本のスタートアップ経済をより一層盛り上げていきたいと考えています。そのため、2020年11月よりスタートアップ経済の成長性を示唆する新たな先行指標として、スタートアップ雇用指数「WANTEDLY」の公開を開始いたしました。

ウォンテッドリーは、企業の潜在転職者への認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進しております。スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を通じて、未来の日本の産業を創るスタートアップシーンの盛り上がりを加速させることで、Wantedlyが「はたらくすべての人のインフラ」となる世界の実現を加速させてまいります。

ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数 37,000 社、個人ユーザー数 290 万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
URL : <https://www.wantedly.com>
本社所在地 : 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F
代表取締役 : 仲 暁子
設立 : 2010 年 9 月
事業概要 :

290 万人以上が利用するビジネス SNS「Wantedly」

- 会社訪問アプリ「Wantedly Visit」
- つながり管理アプリ「Wantedly People」

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite